



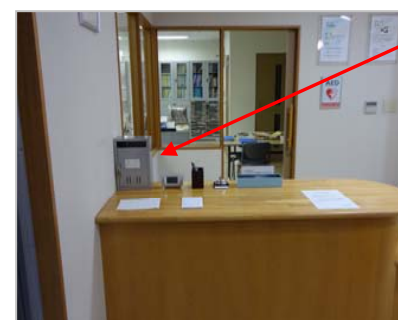
今年はクリスマスイヴの晩にクリスマスディナーをお出ししました。バター風味豊かなエビピラフに、濃厚なクリームシチューを合わせました。メインディッシュは柔らかい肉質のローストビーフ。お口直しにきのこのマリネを添え、デザートにはジュシーなメロンをあしらいました。皆様、お味は如何だったでしょうか。

～敷地内全面禁煙のお知らせ～

当施設では平成25年1月1日を以って、利用者様専用の1ヵ所を除く敷地内全面禁煙とさせていただきます。施設の公共性に鑑み、時代の要請に応える為の措置として実施します。敷地内全面禁煙にご理解を賜ります様、宜しくお願ひ申し上げます。

～ご面会の方へのお願い～

当施設ではインフルエンザやノロウイルス等の感染予防対策として、ご面会のお客様にうがい、手洗いをお願い致しております。全国の高齢者介護施設に於いて感染症が流行の兆しを見せておりますので、何卒ご協力頂けます様、お願ひ申し上げます。



面会票を入れて頂くボックスが替わりました。従来は赤いボックスでしたが、現在はグレーのボックスとなっております。(写真矢印)

～1月の行事予定～

★ スイートピーさんによる大正琴演奏会
1月 25日(金) 午後1時30分～ 2階

～1月の趣味の教室～

★書道教室【大倉佳子先生】

● 1月 21日(月)
2階 午後1時30分～

★陶芸教室【斎藤勝義先生・梶谷和子先生】

● 1月 18日(金)
3階 午後1時30分～

★編物教室【梶谷和子先生】

● 1月 22日(火)
2階 午後1時30分～

～定例催し物～

★音楽会【宮岡久美子さん】

1月 8日(火) 午前10時30分～ 2階

★音楽会【さくら草さん】

1月 24日(木) 午後1時30分～ 2階

★朗読【権田喜代さん・根岸麗子さん】
【高橋政子さん・あすなろさん】

1月 10日(木) 午後1時30分～ 2階

1月 16日(水) 午後3時30分～ 2階

1月 17日(木) 午後3時30分～ 2階

1月 23日(水) 午後3時30分～ 3階

1月 25日(金) 午後3時30分～ 2階

1月 29日(火) 午後3時30分～ 3階

★詩吟【佐藤譲さん】

1月 23日(水) 午後1時30分～ 2階

★折紙【田中美枝子さん】

1月 9日(水) 午後1時30分～ 2階

手芸作品
「年賀状作り」



編集後記

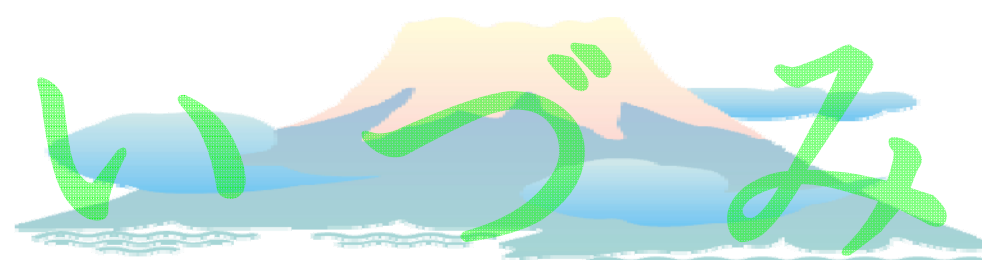
今年は昨年より寒い冬となる見込みで、積雪も予想されます。しんと雪の降りつもる静かな夜は、読書をして過ごしたいと思います。

編集代表 金子弘幸

介護老人保健施設いづみケアセンター



〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町和泉 873
TEL0493-56-6123 FAX0493-56-6124



いづみのホームページ <http://www.kokoro.or.jp/izumi-care/>



「進むべき道を見つめて」

入所課長 橋本房江



新年明けましておめでとうございます。皆様健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

昨年の出来事を振り返りますと、月の陰に隠れた太陽が美しいリングとなる金環日食が思い出されます。自然の摂理が織り成す天体ショーは正に神秘的であり、「私」という小さな存在が大いなる力によって大宇宙に生かされているのだと実感させられました。ロンドンオリンピックでの日本選手団の活躍も忘れられません。胸の熱くなる数々の感動のシーンに何度も涙を流しました。

一方、一昨年の東日本大震災の復興が遅々として進まない現実、被災された方々のお気持ちを思うと胸が痛みます。一刻も早く安心して落ち着いた暮らしが戻ります様、心から願ってやみません。

さて今年は何の様な一年になるのでしょうか。私は昨年末に東京都世田谷区の特別養護老人ホーム「芦花ホーム」に勤務する石飛幸三先生というお医者様のお話を伺う機会に恵まれました。石飛先生は「平穏死」こそ人間の尊厳ある終末の在り方である事を唱え、実践されている方です。講演の中で石飛先生は、私達高齢者介護施設職員の使命についてこう語りました。「その人の本音はどうなのかをしっかりと受け止めて下さい。その人が本当に望む事をやって頂きたい。誰しも人生は一度きりしかない。本当の幸せとは生き甲斐のある人生を送る事です。人間としての支えをやりましょう。」と……。私はこの真っ直ぐなお言葉に大きな感銘を受けました。石飛先生から頂いたメッセージは、当施設の基本的な考え方である「施設理念及び基本方針」と同一のものであり、エールを送って頂いたと感じています。この精神性を当施設の介護現場にきちんと落とし込み、迷わず実践していく事こそが私に課せられた「義務」であると思います。

石飛先生の著書『看護の時代(共著)』と『「平穏死」という選択』は、今の私にとって介護の仕事をする上での精神的支柱であり、バイブルともなっています。『看護の時代』では看護・介護に求められる7つの徳として「明るさ」「凛々しさ」「優しさ」「微笑み」「温かさ」「清潔」「瞑黙」を挙げていますが、私も介護現場に生きる人間として深く共感しています。利用者様がこれまでどんな人生を歩まれてきたのか。今何を思い、何を喜びとし、何を求めておられるのか。そうした利用者様の言葉にならない言葉を聞き取り、心からの笑顔に出会える様、使命感を持って現場を率いて参ります。そして巡り会えた全ての利用者様とのお縁に深く感謝致します。

今後とも私共の取り組みに対しご理解を賜ります様、宜しくお願ひ申し上げます。

施設のひとコマ

★10月13日 チンドン屋さん来所



今では滅多に見かけなくなった昔懐かしいチンドン屋さん。今年も「番匠一座夢ちどん」の皆さんが、派手な衣装と賑やかな曲で施設に元気を与えて下さいました。思わず立ち上がって手拍子をされる利用者様もおられ、「心のリハビリ」のみならず、「身体のリハビリ」にもなりましたね。

★10月24日 コスモス畑へドライブ



2階1番館の利用者様が、吉見町のコスモス畑へドライブに出かけました。真っ青な空の中に満開のコスモスがあたり一面に広がっており、利用者様から「綺麗ねえ。」と感嘆の声が上がりました。青とピンクのコントラストの遙か遠くには霊峰富士が美しい雄姿を見せていました。さて次は何を見に出かけましょうか？

★11月20日大正琴の演奏会



大正琴のボランティアグループ「スイートピーさん」による演奏会が開催され、美しい大正琴の音色が館内に響きました。馴染みの曲の数々に懐かしい情景が蘇り、演奏に合わせて歌を口ずさむ利用者様の姿が多く見られました。会場全体がひとつになる温かい演奏会でした。

11月1日～3日 滑川町文化祭



今年も滑川町文化祭に、利用者様の作品を多数出品致しました。ぼかぼかとした小春日和の中、文化祭に出かけた利用者様は、ご自身の作品を眺めてにっこり。また地域の方々の様々な「匠の技」にうっとり。その技を熱心に研究された方も多く、次回への創作意欲が湧いた様子でした。

11月8日 ケアマネモニター会



地域の居宅介護支援事業所でご活躍されているケアマネージャー様を施設にお招きし、中の様子をご覧頂きました。まず施設でお出している昼食をご試食頂きましたが、多くの方から「美味しいですね。」と好評を博す事が出来ました。リハビリテーションや手工芸等のアクティビティの場面では、「皆さん、熱心に取り組まれておりますね。」「こんなに多彩で密度の濃いプログラムを提供されているのですね。」と高い評価のお言葉を多数頂戴しました。ご来所下さったケアマネージャーの皆様、お忙しい中有り難うございました。今後とも宜しくお願ひ申し上げます。

通所のひとコマ



10月 お米の収穫

施設中庭の小さな耕作田で取れたお米の脱穀を行ないました。皆さん、慣れた手つきで作業を進めて下さり、あっという間に脱穀終了。今年はどうくらい取れましたか？

11月 運動会

今年も大運動会が開催されました。紅組と白組の二手に分かれ、各種競技にオリンピック級の白熱の戦いが繰り広げられました。玉入れも大接戦。利用者様に玉の数を数えて頂きましたが(写真)、どちらの勝利でしたか？



12月 忘年会



忘年会では楽器演奏や合唱等、職員による各種芸能が披露されました。中でも絶品はフラダンス。スローテンポなハワイアンに乗せて、しなやかさの中にも艶やかな美しさが醸し出され、その魅力に皆が酔いしれました。ダンサーの皆さん、年に1回の披露では勿体無いですね。次回は是非多くの方々にご覧頂きたいと思ひます。

こんな取り組みをしています！！

■全国介護老人保健施設沖縄大会

10月3日から5日までの3日間、沖縄県で全国介護老人保健施設大会が開催されました。当施設では3部署3名が日頃の研究や取り組みの成果を、演題発表という形で全国に発信しました。発表者、演題名は下記の通りです。今後も各種サービスの品質向上を目指し、施設一丸となって研究・研鑽に努めて参ります。



近藤 由紀さん(入所課 2階1番館主任 介護福祉士)
「排泄関連委員会主導によるサービス品質向上の取り組み」
～根拠ある排泄ケアを追求した私達の試み～



木村 沙也子さん(フードサービス部 調理師)
「残食が私達に教えてくれた事」
～バケツの中に見つけた品質向上のヒント～



高井 康孝さん(リハビリテーション課 作業療法士)
「認知症高齢者の役割再構築に関する一考察」
～「出来る事」に着目して～

■介護百人一首に職員3名入選

埼玉県介護老人保健施設協会が募集した介護百人一首に、当施設から応募した職員3名の作品が見事“優秀賞”を受賞しました。協会が選出した秀歌10首に当施設の3首が入選という栄誉に輝いたのです。来たる2月22日、受賞者3名の協会表彰式が大宮ソニックシティで行なわれます。おめでとうございます。ここに受賞者3名の作品を紹介させていただきます。



近藤 由紀さん(入所課 2階1番館主任 介護福祉士)
「見ているよ 分かっているよ 大丈夫
優しく微笑む あなたに感謝」

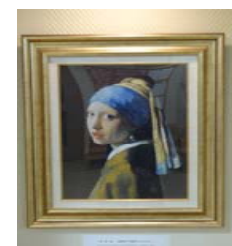


増田 きよ子さん(入所課 2階3番館職員 介護福祉士)
「老いた手に 我が母重ね なおいっそ
やさしい心 やさしい介護」



丸本 春代さん(支援部相談課 支援相談員)
「最期の日 想いをこめて 手をにぎり
出会えたことの 大きさを知る」

■フェルメールの絵画(レプリカ)を3点購入致しました。



「真珠の耳飾りの少女」 「デルフトの眺望」 「ディアナとニンフたち」

■施設長が協会研修会の講師に



10月27日、浦和の埼玉会館で埼玉県介護老人保健施設協会主催「中堅職員・リーダー研修会」が行なわれ、協会理事である内田施設長が講師を務めました。県内の各施設に勤務する多職種100名の方々が研修会に参加され、施設長による「老健で求められるリーダーシップ」をテーマとした講義に聞き入りました。日頃施設で介護サービスの品質の向上に苦心する施設長の講義は、会場の共感を呼び起こしました。

■バレーボール大会に出場しました



10月7日、埼玉県介護老人保健施設協会主催のバレーボール大会が坂戸市民総合運動公園体育館で

行なわれ、当施設の職員チームも参戦しました。予選リーグ2勝2敗という戦績で、惜しくも決勝トーナメントへの進出は叶いませんでした。この経験をバネとして、次回は更なる上位進出を狙います。応援有難うございました。

■当施設職員が福岡国際マラソンに出場



平成24年12月2日(日)に開催された第66回福岡国際マラソンに、フードサービス部の金子遼さんが出場し、自己ベストを大幅に更新する2時間26分15秒という好タイムで、総合59位という成績を収めました。毎日行なう退勤後のハードトレーニングで記録を更新し続ける「ランナー金子遼選手」。金子選手の活躍から、全職員が勇気を貰っています。さあ時は来た。世界に飛び立て、金子遼選手！！

昨年11月3日に開催された滑川祭りに、当施設はバザー並びにサーターアンダギーの販売で出店し、その収益金でフェルメールの絵画のレプリカ3点を購入致しました(左写真)。1階エントランスに1点、3階に2点展示しております。施設へお越しの際は、是非ご鑑賞下さい。